

くずし字学習の基礎知識

 山田和人（同志社大学）

1 くずし字とは何か

くずし字とは、漢字をくずした文字のことで、古代以来の古文書や古典籍等（こもんじよ こてんせき）で用いられています。くずした文字がひらがなやカタカナ、草書体漢字となります。


くずすもとなる漢字を字母（じぼ）と言います。明治三三年（一九〇〇）文部省令第一四号「小學校令施行規則」で五十音順のひらがなの一字に字母一字と統一されました。それ以前は、複数の字母の文字で書かれるので、それを変体（へんたい）仮名（がな）と言います。

2 くずし字は何が難しい？

くずし字学習では、複数の字母があることを理解するのが最初の難関です。どのような種類があるのか、くずし方があるのか、巻末の「くずし字一覽表」（194頁）を参照してください。

次の難関は連綿体（れんめんたい）と言われる複数の文字を続けて表記するつづき文字で、どこまでが一字かを把握するのが難しいです。

筆文字なので、同じ字母でもくずし方が違うと異なって見えるのも難関の一つ。

ここを押さえれば、くずし字学習は楽になります。例えば「あさかほ」「」を例にしましょう。まず、

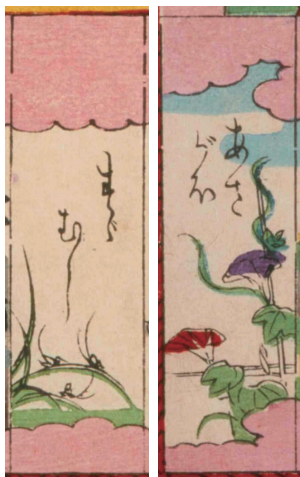


図1

図2

「源氏かるた絵合」（部分、東京学芸大学附属図書館蔵）

絵を見ると、花の色や形、蔓と葉から朝顔と見当がつきます。そこで文字を見ると四文字であり、最初の「あさ」は今のひらがなと同じ字母です。「かほ」はともに現代の字母「加」「保」とは異なっています。そこで、巻末のくずし字一覧表などを参照して、他の字母を探すと、「可」「本」のくずしであることがわかります。むしろ、古典籍では、こちらの字母の方がよく出てきます。

もう一例として「すゞむし」「図2」を取り上げます。

「むし」は「武」「之」を字母とすることは見当がつきます。そこで何虫かを考えます。「まつむし」「すずむし」あたりが連想されます。「まつ」と「すず」の字母を検索すると、「ま」の字母である「末」と「す」の字母「春」を比べれば、「春」とわかります。「春」の下にある字は踊り字で、繰り返しの符号です。「春」の字母＋踊り字となり、「すゞ」と解読できます。このように、文字がつながっているのを連綿体と言います。一字か二字か、漢字かと考えてみるのが大切です。この二例は「源氏かるた総合」で、「源氏物語」の帖名が双六風に並んでいます。「源氏物語」の授業の導入にも使えるか

もしれません（東京学芸大学附属図書館 <https://d-archive.u-gakugei.ac.jp/item/10803354#?page=3>）。

このように初学者にとっては、絵と文字が一体になっている教材が最適です。それは絵が文字を読解する上で、その背景や文脈の理解を直観的に類推させてくれる効果があるからです。

ちなみに、異なる字母で書かれた文字を現在通行の字体に置き換えることを翻刻（ほんこく翻字）ほんじと言います。

3 くずし字学習とアプリ

近年、くずし字学習を支援するアプリが開発され、普及しています。くずし字学習支援アプリKuLaとA-Iくずし字認識アプリ「みを」です。前者は、複数の字母をアプリで検索できます。KuLaが前掲の「くずし字一覧表」の役割を果たします。後者はA-Iが自動で解読してくれます。次のページのQRコードや文末のURLからダウンロードして試してみましよう。

使い方としては、対象の文字の見当がつく場合は、KuLaで字母を検索・確認することができ、学習者の読

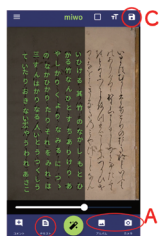
解を支援してくれます。「み」は文字の見当がつかない場合、Aー解読で認識された文字を手がかりに、学習者の読解をサポートしてくれます。また、授業者にとっては、「み」は学習者の興味や関心を喚起する多様なジャンルの教材探しを強力にサポートしてくれます。ただし、Aーはうまく認識できない場合があるので、KuLAで確認するのがいいでしょう。「みを」のカメラで撮影する場合、できるだけ水平に構えて、ゆがみの少ない状態で撮るのがいいでしょう。意味不明なところは拡大して撮影するのも精度を上げる方法です。「みを」は実物だけではなく、デジタル画像も画面で読み取ることができます。Aーは計量的分析的に超速の字形認

識で最も近い字形を提示してくれます。それを授業者や学習者自身が検証して、本文の文脈や語彙、文法などから読解していきます。そのためには電子辞書などが役に立ちます。学習者にとっては「みを」とKuLAの二段

くずし字学習アプリ「みを」[KuLA]のすゝめ

学習の目的別にアプリを使いこなし、賢くくずし字をマスターしよう

①古典籍の素材を効率よく集めたいなら…「みを」



【ここがスゴイ！「みを」の便利情報】

- A…古典籍の写真を撮る、または画像フォルダから読み取り。
- B…タップでAIがすぐに翻刻！簡単に現代の文字に変換。上部のゲージを動かせば、元資料との比較も可能。
- C…認識した資料が自動保存され、ここにまとめられる。
- D…翻刻を自動テキスト化。コピー&ペーストが楽に。

※画像に使用した資料
「ARC古典籍データベース」(https://www.dh-jac.net/db1/books/search_portal.php)より

△注意△

AIによる翻刻のため、重なった文字、字母の似た字は正しく認識されないことも。内容を効率よく、ざっくりと理解するには便利だが、文字の正誤は確認しよう。

②くずし字の基礎理解、翻刻の精度を上げるなら…「KuLA」



【ここがスゴイ！「みを」の便利情報】

- ・初学者も安心！基本的な字母から読み方を学べる。
- ・文字検索機能付きで、ひらがな・漢字の検索が簡単に。
- ・テスト機能で復習もバッチリ。
- ・草書体漢字も取り扱っている。

△注意△

学習可能な取り扱字母の数には限りがあるので、アプリのみでマスターは難しい。基礎を固めるにはピッタリなので、入門にはまずこちらを使ってみよう。

☆各アプリのダウンロードはこちらから！

「みを」



iOS



Android

「KuLA」



iOS



Android

STEP 1 古典への誘い方

STEP 2 和本への誘い方

STEP 3 くずし字への誘い方

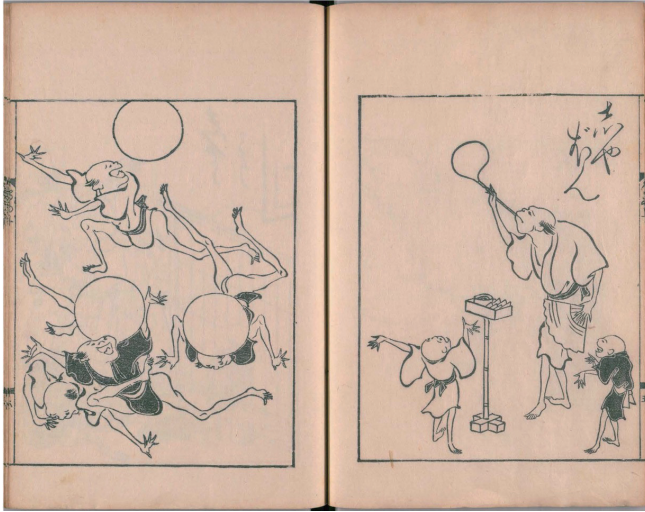


図4 『鳥羽^{あひ}絵^え欠^かび^び留』(国立国会図書館デジタルコレクション)



図5 『どん^{おん}じ^じ御^{おん}はん^{はん}じ』(同志社大学文学部国文学科蔵)

4 アプリを試す

いくつか読み取りサンプルを提示します。「しやぼん」

階学習として、くずし字学習を促進してくれます。

「図4」の素材は鳥羽^と絵^えですが、絵からシャボン玉が飛んでいると見当をつけることができます。KULIAで検索すると「し」は「志」が字母、「ぼ」は前出「本」のくずしとわかります。絵から文字を推測することができます。

るので学習者も楽しんで試すことができます。続けて、少し長めのサンプル「図5」を「みを」を使って読みましよう。漢字のふりがなは「土俵^{どひょう}ぎ^ぎは」。本文は、「力を入んて つき出すと 勝(かち)」と「みを」は解読してくれます。絵と



右画面の「出」を長押しした画面

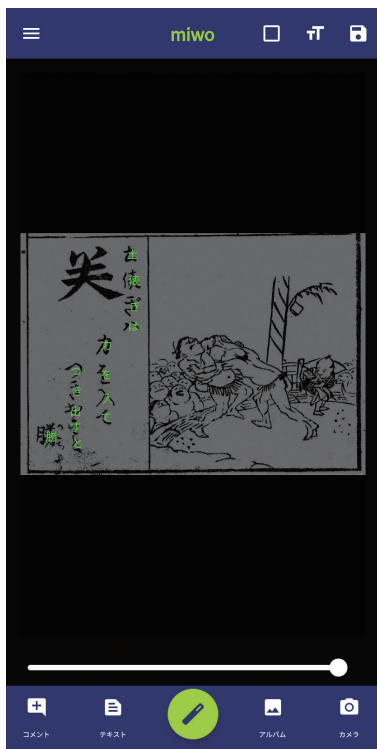


図4を「みを」で翻刻した画面

合わせると、土俵で力士が突き出して勝ちと読解できます。さらに、漢字の傍の一部分に「力」を入れて、偏に「月」を出すと、「勝」の漢字になるという判じ物であると解釈できます。「出」という漢字が難しいかもしれませんが、「みを」の画面上でこの文字を長押しすると「出」という漢字を別画面で提示してくれます。KULIAで「出」を検索して確認するのもいいでしょう。

もう一つサンプル「図6」を出しておきます。「こひしかるべきよはの月かな」「三條院」おもしろいかなと「みを」は連続体の文章も認識します。これは百人一首の三條院「心にもあらでうき世にながらへば こひしかるべきよはの月かな」を元歌として、下の句を「おいしいに違いない夜更けの寿司であるよ」とパロディ化したものと解釈できます。ちなみに「みを」の画面の「か」をタップすると

STEP 1 古典への誘い方



右画面の「か」を長押しした画面

STEP 2 和本への誘い方



図6を「みを」で翻刻した画面

STEP 3 くずし字への誘い方



図6 『百人一首地口絵手本後』(国立国会図書館デジタルコレクション)

「か」の字母がハイライトしたり、長押しすると字母が表示されます。絵から江戸時代の寿司屋についての調べ学習にも展開できます。百人一首の授業の導入になるかもしれません。「みを」を使えば、教材の範囲が広がります。

ここで使用したサンプルの出典は以下の通りです。これらの中には、他にも興味深い例を探すぐができると思います。「みを」とKuLaで試してみてください。

・「しゃばん」国立国会図書館デジタルコレクション。「鳥羽絵欠び留」
あくどめ

<https://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2540367>

・「勝」国文学研究資料館国書データベース。「どんじ御はんじ」（同志社大学文学部国文学科蔵本表紙には「どんじしう」（鈍字集）

<https://kokusho.niji.ac.jp/biblio/200004531/>

・「おいしかるべきよはの月かな」国立国会図書館デジタルコレクション。「百人一首地口絵手本後」
じくちえてほん

<https://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/861695>

学校教育の現場ではタブレットが学習者ひとり一人に配布されているので、タブレットにアプリを搭載できると、多様な和本わほんやくずし字を古典教育に組み込むことができるようになるでしょう。すでに導入している学校もあります。

5 くずし字学習の参考資料

最後に、くずし字学習に役立つ書籍やサイトを紹介します。

ます。

【辞典類】

▼かな（古典籍）の辞典

『くずし字辞典』波多野幸彦監修（思文閣出版、二〇〇〇年）

『字典かな』笠間影印叢刊行会編（笠間書院、出典明記

二〇一六年、新装版二〇〇三年）

▼くずし字（古文書）の辞典

『くずし字解読辞典』普及版 児玉幸多編（東京堂書店、

一九九三年）

『くずし字用例辞典』普及版 児玉幸多編（東京堂書店、

一九九三年）

【ユニークなくずし字入門書籍】

『妖怪草紙 くずし字入門』アダム・カバット（柏書房、

二〇〇一年）

『書いて覚える 江戸のくずし字いろは入門』菅野俊輔

（柏書房、二〇〇六年）

『寺子屋式古文書手習い』吉田豊（柏書房、一九九八年）

『江戸かな古文書入門』吉田豊（柏書房、一九九五年）

参考：『江戸のパロディー もじり百人一首を読む』武藤禎夫（東京堂出版、一九九八年）

【アプリ】

Aーくずし字認識アプリ「みを」（<http://codh.rois.ac.jp/miwo/>）

<http://codh.rois.ac.jp/miwo/>

くずし字学習支援アプリ「KuLlA」

<https://kula.honkoku.org/>

【くずし字入門サイト】

▼誠心堂書店「変体仮名 五十音順一覧」は多くの字母を掲載しているので、KuLlAが掲載する頻出字母以外を検索するのに便利でわかりやすい。

http://www.book-seishindo.jp/kanal/onjun_1.html

▼国文学研究資料館「くずし字を読む」は「くずしって何?」「くずし字問題集」「初級編」「くずし字を読んでみよう!」「中級編」百人一首をくずし字で読んでみよう!」「上級編」くずし字を読んで、何の本か当ててみましょう」などを収めています。初心者向けです。

<http://www.nijl.ac.jp/koten/kuzushiji>

▼日本近世文学会二〇二一年春季大会シンポジウム「デ

ジタル時代の和本文学研究と教育の未来」の中の「本シンポジウムにおける情報共有」は、近年のくずし字教育関連のサイトが網羅されており、興味のある方はゆっくりご覧ください。

<http://user.keio.ac.jp/~sakura/kinsei/information.html>

※現在、国内で公開されている、今すぐ使えるデジタル画像データの所在や取り扱いの留意点については、本書所収の三宅宏幸「古籍のデジタルアーカイブ利用の一例」を参照ください。